

特定非営利活動法人サロン 2002

2024 年度 活動報告書



# はじめに

新型コロナが5類に移行し、「当たり前だった日常」が戻ってきた2023年度でした。「かつての日常」を取り戻すだけでなく、コロナ禍で得た知見やスキルを用いた「新たな日常」を模索する段階です。継続するか断ち切るか、元に戻すか見直すか、どのように改善するか、そして新たに創出するものは…これらをさぐりながら、2023年度の事業に取り組んでまいりました。

昨年度の活動報告書の「はじめに」の書き出しです。2024年度はどうだったでしょう。

1997年度からほぼ毎月開かれる月例サロン（月例会）は、3月末で通算341回となりました。うち2回は公開シンポジウムで、toto助成を得て開かれました。8月の「U-18女子フットサルを語ろう」は、U-18男子フットサルが2012年度の公開シンポジウムを機に一気に整備されたことが念頭にありました。今後にいかにつなげるかが重要です。11月の「部活動で学んだことを語ろう」は、部活動改革が進む中で卒業生の声（いまの自分にどう影響しているかなど）があまり表に出でこない（飲み会ではよく聞くが）のが問題意識がありました。副題の「筑波大学附属高校の近現代を中心に」の意図は、中塚が38年間顧問を務めた同部のあゆみを振り返りながら、卒業生が学んだことを出し合うというものでした。「迷ったらやれ」「二つの道があったら厳しい方を選べ」など、「高校時代の部活動で言われ続けたことが頭に残っている」と多くの卒業生が語っていたのが印象的でした。これらの内容はtoto助成で作成した報告書『游ASOBI』に掲載されています。ホームページからもご覧いただくことができます。

中核事業と言える「U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ」もtoto助成を受けて第9回大会が開かれました。フウガドールすみだファルコンズ（東京）の4連覇は見事です。大会の認知度を高めるために5分間のプロモーション映像を作成しました。フットサルの魅力、U-18年代の可能性が詰まった映像です。多くの方にみていただきたいものです。<https://www.salon2002.net/?p=2000>

このほかにも日本ピエール・ド・クーベルタン委員会（CJPC）主催の国内ユースフォーラムの主管や、日本部活動学会との連携など、サロン2002の“志”に賛同する団体との連携を図り、2024年度は予定していた諸活動をつつがなく終えることができました。組織としての“基礎体力”が脆弱な割にいろんなことに取り組むNPOサロン2002です。ちょっと無理をしているかもしれませんが、“志”的実現のために為すべきことをやっているという認識です。

2014年度に法人化し、11年が経過しました。2025年度は、2年任期の第6期理事会の最終年度です。

1997年度に始まるサロン2002の月例会にいろんな方が参加するようになり、全国組織に拡大していった背景には、インターネットの普及・浸透がありました。簡単につながるツールを手にしただけでなく、当時のメンバーが「ネットワークをフットワークにつなげるマインド」を持っていたことが重要です。活字でしかつながっていない人に「会いに行く」という意識と行動が、不思議なネットワーク・サロン2002の根底にあるマインドです。

“働き方改革”が求められ、タイパ、コスパ重視の世の中です。いろんなことが手軽にできて、「簡単な方を選ぶ」ようになってきました。「迷ったらやらない」になっているのを感じます。

こんなご時世だからこそ、ネットワークをフットワークにつなげるマインドを持ち、Face to Faceを大切に、これからも歩んでまいります。

私たちの“志”に賛同してもらえるなら、仲間の輪に加わりませんか？ いつでもお待ちしています。

2025（令和7）年6月  
特定非営利活動法人サロン2002  
理事長 中塚義実

# 目 次

はじめに .....	1
特定非営利活動法人サロン2002理事長 中塚義実	
目 次 .....	2
サロン 2002 行動規範－ちゃんと遊ぶためのリスペクト宣言 .....	3
【調査研究・情報提供・普及啓蒙事業】	
1. 月例サロン .....	4
2. 公開シンポジウム .....	14
【イベント開催事業】	
3. 第9回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ .....	17
4. 高校生対象のオリンピック教育プログラム .....	23
【人的ネットワーク管理運営事業】	
5. 事務局報告 .....	25

# サロン 2002 行動規範

## — 「ちゃんと遊ぶ」ためのリスペクト宣言 —

1997 年度にサロン 2002 が生まれて 25 年。2014 年度の法人化から 8 年が経過しました。私たちは「スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”」を“志”に掲げていますが、スポーツ界も“ゆたかなくらし”的あり方も、とらえ方や取り巻く状況は大きく変化しています。とくにコロナ禍でその変化は加速しました。

その中で、改めて思います。“志”的実現に向けてもっとも大事なのは、「ちゃんと遊ぶ」ための仲間同士の心がまえだということを。

ここにサロン 2002 の行動規範を<「ちゃんと遊ぶ」ためのリスペクト宣言>として示します。

“志”に賛同する仲間とともに語り合い、行動する、“Give and Take”的第一歩として遵守してください。安心して参加し、自由に発言できるファミリーを築き、“志”的実現を目指します。

### 1. 多様性の重視と尊重—「安心して発言できる場をつくります」

私たちは、すべての人を個人として尊重し、多様性を重視します。性別、年齢、職業、国籍、人種、思想、信条、宗教、社会的地位または門地、障がいの有無等を理由とする差別や人権侵害を認めません。

そしてあらゆる場面において人権を尊重し、自らが差別や人権侵害に関与しないよう努め、持続可能な社会の発展に貢献します。

### 2. ハラスメントの禁止—「相手の立場に立って考え、行動します」

私たちは、あらゆる差別やハラスメント行為を許容せず、そのような行為に繋がる事象を防止するために不斷に取り組んでいきます。

### 3. コンプライアンスの重視—「ルールとマナーを守ります」

私たちは、基本的人権を擁護し、ルールとマナーを守り、社会の一員としてコンプライアンスを遵守した事業活動を行います。

### 4. 表現の自由とプライバシーの保護—「リアルとオンラインをともに大切にします」

私たちは、文字や音声、通信やインターネット、ソーシャルメディア上のコミュニケーションでの表現の自由とプライバシー保護についても認識し、その侵害がないように最大の注意を払います。

**本ポリシーの制定と改訂**  
2022 年 12 月 22 日制定 NPO サロン 2002 理事会にて承認

# 1. 月例サロン

NPO 法人サロン 2002 の中核となる事業が「月例サロン（旧名称は月例会）」である。サロンファミリーのみ参加できる「限定サロン」は 4 月、6 月、12 月、1 月、3 月の計 5 回、それ以外は誰でも参加できる「公開サロン」であった。

限定サロンは、導入初年度（2022 年度）は 3 回であったが、昨年度、今年度とも 5 回に増えた。サロンファミリーの相互理解の場として限定サロンは貴重だが、開かれたサロン 2002 の観点からは公開サロンをもう少し増やしていく必要があるだろう。

期日・会場・参加者・テーマは表のとおりである。年間を通して参加者総数は 200 名。2023 年度の 211 名、2022 年度の 264 名を下回ったのは、限定サロンの増加と告知不足が影響したと言える。

引き続きスポーツやアートなどの“遊び”を中心各分野からテーマ設定し、オフィシャルサイトを通して情報発信に努めるとともに、2025 年度は首都圏だけでなく地方での開催を試み、サロン 2002 の“志”の展開とサロンファミリーの拡大につなげていきたい。

## <2024 年度月例サロン一覧>

通算回数	期日	会場	テーマ (報告・話題提供者)	謝金		参加者			
				演者 10,000 円	報告書 5,000 円	NPO 会員	ファミリー	ファミリー外	参加者計
第330回	4.18.	オンライン(ZOOM)	(限)サロン2002を語ろう！－2024年度のスタートにあたって	謝金なし	(中塚)	6	8	-	8
第331回	5.9.	筑波大学附属高校/ オンライン(ZOOM)	大戦前の日本サッカーと二つのルーツ校 －東京高師と東京高師附属中(中塚義実)	(中塚)	(中塚)	2	5	5	10
第332回	6.15.	都内法律事務所/ オンライン(ZOOM)	(限)2004総会後の意見交換会－サロン2002の事業と組織を考える	謝金なし	(中塚)	8	10	-	10
第333回	7.12.	筑波大学附属高校/ オンライン(ZOOM)	次世代支援について語ろう －未来を創る25歳の若者たちに必要な成長支援は？(磯和明)	磯和明	熊谷建志	5	9	2	11
第334回	8.1.	グリーンアリーナ神戸 多目的ホール	公開シンポジウム① U-18女子フットサルを語ろう！ (中村柾斗★、田中悦博★、小林美由紀★、中塚義実、本多克己)	中村・田中・小林へ 各1万円	中塚	5	6	41	47
第335回	9.3.	筑波大学附属高校/ オンライン(ZOOM)	U-18フットサルリーグチャンピオンズカップの短編ドキュメンタリー映画をつくろう！(ガスバール・クエンツ★、土谷享)	ガスバールへ1万円	土谷享	8	11	2	13
第336回	10.4.	筑波大学附属高校/ オンライン(ZOOM)	ソーシャルフットボールについて －精神科ディイケアでのリハビリとソーシャルフットボール(野村忠明)	野村忠明 10,000円	野村忠明 5,000円	3	6	3	9
第337回	11.23.	桐陰会館/ オンライン(ZOOM)	公開シンポジウム② 部活動で学んだことを語ろう！－筑波大学附属高校蹴球部の近現代を中心に(高橋正紀★、朝倉雅史★、中塚義実)	高橋・朝倉へ各1万円	(中塚)	6	13	15	28
第338回	12.21.	プラセリエBRAS SERIE	(限)2024忘年会兼お宝映像上映会:1974年のオランダ －1974 FIFAワールドカップ1次リーグ オランダvsウルグアイ	謝金なし	(中塚ほか)	5	10	1	11
第339回	1.30.	オンライン(ZOOM)	(限)第9回U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ総括と今後	謝金なし	河合拓	7	8	23	31
第340回	2.25.	オンライン(ZOOM)	台灣駐在の楽しみースポーツ、食べ物、文化(笹原勉)	笹原勉へ10,000円	笹原勉へ5,000円	4	8	1	9
第341回	3.28.	筑波大学附属高校/ オンライン(ZOOM)	(限)U-18FLCCの10周年に向けて－“出張サロン”と“ドキュメンタリー映像＆書籍化”的可能性(中塚義実、土谷享ほか)	謝金なし	(中塚)	6	12	1	13

★は月例サロンの時点でサロン2002ファミリーでない方

↓  
※サロンファミリー  
のうちNPO会員数

↓  
参加者総数

月例サロンの内容は報告書にまとめ、誰もが閲覧できる形で NPO サロン 2002 のホームページに掲載されている。ご参照いただきたい。

次ページより、各回の概要を記載する。

## 《2024年4月 限定サロン（通算330回）》

【日 時】2024年4月18日（木）19:40～21:20 ⇒ 終了後はオンライン懇親会（～23:00）

【会 場】オンライン（Zoom）

【テーマ】サロン2002を語ろう！－2024年度のスタートにあたって

【参加者（サロンファミリー 8名）】 ◎はNPO会員、○は会員外のサロンファミリー

○磯和明、◎熊谷建志、◎小池靖、◎関秀忠、◎茅野英一、◎中塚義実、○野村忠明、◎本郷由希

【報告書作成】中塚義実

【概要（理事長より）】 ※3月26日付「サロン通信2024年3月号」より

2024年度最初の月例サロンは「限定サロン（参加できるのはサロンファミリーのみ）」のかたちで、サロン2002の現状と今後を語ります。初期のころからのメンバーも、2024年度に新たにサロンファミリーになった方も、気軽にご参加ください。

「現状」については、2024年度に導入した「会費ペイ」による会員管理システムの成果と課題、サロンファミリーとして何ができるのかを共有します。

「今後」については、まず2024年度の主な事業を確認します。そして参加者から、月例サロンや公開シンポジウムで取り上げたいテーマや演者、「U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ」の10周年（2025年度）に向けての思いや希望など、自由に意見交換します。

4月16日（火）に2024年度第1回NPOサロン2002理事会を開き、上記について議論します。その報告を踏まえて、参加者全員で自由に意見交換できればと思います。

サロン2002のあゆみを共有しておくことも大切です。1997年度に「サロン2002」を名乗る前は、日本サッカー協会科学研究委員会（当時）の研究グループでした。日本のサッカー界、スポーツ界が大きく動きだし、インターネットが普及はじめた初期のメンバーの「ネットワークをフットワークにつなげよう」というマインドが、サロン2002誕生の背景にあります。「歴史」を踏まえ、原点を確認したうえで現状と今後を語りましょう。

「言い出しちゃ」をしてこのネットワークを取りまとめ、おもしろがりながらず～っと仕切っている中塚が進行します。参加された皆さんのが自由に、気軽にコメントできる場にしたいと思います。

終了後のオンライン懇親会も含め、年度のはじめを有意義に過ごしましょう！

## 《2024年5月 公開サロン（通算331回）報告》

【日 時】2024年5月9日（木）19:00～21:00⇒終了後は茗荷谷駅前「はなの舞」（～23:00）

【会 場】筑波大学附属高校会議室での対面およびオンライン（Zoom）

【テーマ】大戦前の日本サッカーと二つのルーツ校－東京高師と東京高師附属中

【演 著】中塚義実（筑波大学附属高校教諭／NPO法人サロン2002理事長）

【参加者（10名）】 ◎はNPO会員、○は会員外のファミリー

<対面（6名）>

○大河原 誠二（筑波大学附属高校蹴球部OB・OG会）、○小針 昇平（筑波大学附属中学校保健体育科）、◎中塚 義実（筑波大学附属高校／NPO法人サロン2002理事長）、奥崎 覚（フットボールWebマガジン『Qoly』）、小池 正通（一般社団法人エスペランサ）、小堀 俊一（日本サッカー史研究会）

<オンライン（4名）> ◎小池 靖（NPO法人サロン2002監事）、○張 寿山、佐藤 真成（日本サッカー史研究会）、平沢 勝美（小石川中等教育学校サッカーチームOB）

【報告書作成】中塚 義実

## 【概要（理事長より）】

NPO 法人サロン 2002 では、月例サロンや公開シンポジウムで何度か「歴史ネタ」を取り上げています。「日本サッカーのルーツ校」については 2016 年度に東京高等師範学校（東京高師）蹴球部について、2023 年度には同附属中学蹴球部について取り上げました（資料 1）2 参照）。

明治期以降のサッカーの普及は、東京高師の卒業生が全国各地の学校に赴任したことが始まりです。

お膝元の附属中学生はおのずとサッカーの先駆者となり、卒業後の進学先・就職先でサッカーチームをつくり、組織の担い手となっていきました。1921 年の大日本蹴球協会（JFA）創設、1929 年の JFA 役員改選（師範学校系から学生リーグ系へ）、1931

年の協会旗制定（キーパーソンは内野台嶺と日名子実三）、ベルリンの奇跡につながるレベルアップ

（ヨーディンから学ぶ）のいずれにおいても二つのルーツ校が深く関与していることがわかります。

大戦前の日本サッカーのすがたについて、わかっていることとまだわかつていなことを改めておさらいしておきたいというのが今回のねらいです。大きな流れを共有し、今後につなげていきたいと考えます。

資料 1) NPO 法人サロン 2002 公開シンポジウム 2016

「日本サッカーのルーツを語ろう！－東京高等師範学校の足跡を中心に」

[https://www.salon2002.net/src/pdf/symposium/2016\\_sympo.pdf](https://www.salon2002.net/src/pdf/symposium/2016_sympo.pdf)

資料 2) NPO 法人サロン 2002 公開シンポジウム 2023

「日本サッカーのルーツを語ろう！Part2 －東京高等師範学校附属中学蹴球部の 100 周年を機に」

[https://www.salon2002.net/src/pdf/symposium/2023\\_sympo-2.pdf](https://www.salon2002.net/src/pdf/symposium/2023_sympo-2.pdf)

### 【キーワード】

日本サッカー史、ルーツ校、東京高等師範学校、東京高師、YC&AC、東京高等師範学校附属中学校、東京高師附属中、大戦前、学校スポーツ、部活動、中村覚之助、内野台嶺、日名子実三、新田純興、鈴木重義、ヨウディン、100 周年、日本ヤタガラス協会、八咫鳥、JFA、シンボルマーク、中塚義実

## «2024 年 6 月 限定サロン（通算 332 回）報告»

【日 時】2024 年 6 月 15 日（土）16：20～17：30

【会 場】千代田区平河町二丁目 16 番 1 号平河町森タワー12 階事務所およびオンライン（Zoom）

【テーマ】2004 総会後の意見交換会－サロン 2002 の事業と組織を考える

【参加者（10 名）】◎は NPO 会員、○は会員外のファミリー

<対面（7 名）>

◎熊谷建志（NPO サロン 2002 理事）、◎関秀忠（弁護士／同理事）、

◎茅野英一（かながわクラブ／同監事）、◎中塚 義実（筑波大学附属高校／同理事長）、

◎本郷由希（同理事）、○丸山実花（お茶の水女子大学附属高校）、○皆川宥子（会社員）

<オンライン（3 名）>

◎小池靖（会社員／同監事）、◎齋藤宣彰（同理事）、◎土谷享（KOSUGE1-16／同理事）

【報告書作成】中塚義実

【概要（サロン 2002 通信 6 月号より）】

特定非営利活動法人サロン 2002 の通常総会（15：00～16：30 予定）後に、恒例の意見交換会を行います。NPO 会員だけでなく、多くのサロン 2002 ファミリーにお集まりいただき、「2024 年度（以後）の事業」と「持続可能な組織のすがた」を考える場にできればと思います。

以下について意見交換します。もちろんこれ以外のテーマも OK です。

1. サロン 2002 の事業一何を、どのように行うか
2. サロン 2002 の組織一仲間の輪を広げ、深めるには？ 担い手は？
3. その他

## 【報告書目次】

### I. サロン 2002 のあゆみと現状（中塚義実）

サロン 2002 の前身／「サロン 2002」としてのリスタート／NPO 法人サロン 2002 ～／  
法人化のねらい／メンバーシップ／サロンファミリーの「約束」と「行動規範」／  
参加者からのコメント

### II. 限定サロン=意見交換会

「これまで」「いま」を踏まえて、「これから」についての意見交換

- テーマ① NPO サロン 2002 の財務構造
- テーマ② NPO サロン 2002 の組織と運営
- テーマ③ 月例サロンと公開シンポ

## 参考：2024（令和 6）年度（通算第 10 回）通常総会

開催日時：2024（令和 6）年 6 月 15 日（土）15 時 00 分～16 時 00 分

開催場所：東京都千代田区平河町二丁目 16 番 1 号平河町森タワー 12 階事務所  
およびオンライン（Zoom）

出席状況：社員総数 23 名 有効出席数 19 名（うち 11 名が委任状による出席）

議決権総数：23 個

有効議決権数：19 個

（会場での対面参加 5 名、Zoom によるオンライン参加 3 名、委任状による表決委任 11 個）

決議事項

第 1 号議案 令和 5（2023）年度 事業報告

第 2 号議案 令和 5（2023）年度 決算 および 会計監査報告

第 3 号議案 令和 6（2024）年度 事業計画

第 4 号議案 令和 6（2024）年度 予算

第 5 号議案 役員の改選

いずれも承認された

参考) 会員外のサロン 2002 ファミリーは、54 名

サロン 2002 ファミリー（含 NPO 会員を含む全体数）は、

現時点 23+54=77 名（昨年度は 28+61=89 名）

## 《2024 年 7 月 公開サロン（通算 333 回）報告》

【日 時】2024 年 7 月 12 日（金） 19:00～21:00 ⇒ ※終了後は近くの居酒屋で懇親会

【会 場】筑波大学附属高校での対面およびオンライン（Zoom）

【テーマ】次世代支援について語ろう—未来を創る 25 歳の若者たちに必要な成長支援は？

【演 著】磯 和明（少年サッカー「くにたち JFC」コーチ、IT 企業従事）

【参加者（11 名）】◎は NPO 会員、○は会員外のファミリー

<対面（5 名）>

○磯和明（会社員）、○小針昇平（筑波大学附属中学校）、鈴木博貴（筑波大学附属高校）、

◎中塚義実（NPO サロン 2002 理事長、筑波大学附属高校）、

○丸山実花（お茶の水女子大学附属高校）

## <オンライン（6名）>

◎熊谷建志（会社員）、小島寛典、◎茅野英一（元帝京大学）、◎土谷享（サロン2002）、  
○野村忠明（埼玉ソーシャルフットボール協会運営委員 会社員）、◎柳井隆志（株式会社HAMONZ）

【報告書作成】熊谷建志ほか

### 【概要（演者より）】

25歳時点で「こうあつたらいいね」という姿のゴールから、逆算で考える必要な幼少の頃からの成長に繋がる体験の場づくりについて、様々な方々の想いを以下のような流れで意見交換・共有出来ればと思います。

- (1)現状把握と未来の環境を予想（10年後、30年後）
- (2)25歳の「こうなっていたらいい」姿のゴール設定
- (3)上記(2)で備わっていてほしい資質（人間力等）は？
- (4)上記(3)に繋がる体験の場とは？

### 【目次】

- I. はじめに
- II. 次世代支援にあたっての思い（演者より）
- III. 意見交換
  - 1) 想定される環境
  - 2) 25歳頃に必要な人間力等
  - 3) ゴールを目指した、年代別に適した経験・学び
- IV. フィードバック、参加者からの感想

### 【キーワード】

次世代支援、成長支援、未来を創る、25歳、若者、人間力、少年サッカー、児童養護施設、フットサル、総合型地域スポーツクラブ、学校教育、体育、遊び、磯和明

## «2024年8月（通算334回）公開シンポジウム»

8月1日（木）に、グリーンアリーナ神戸多目的ホール（兵庫県神戸市須磨区緑台）とオンライン（Zoom）で公開シンポジウム2024-①を開催。

テーマは「U-18女子フットサルを語ろう！」

## «2024年9月 公開サロン（通算335回）報告»

【日 時】2024年9月3日（火） 19:00～21:15 ※終了後はオンライン懇親会（～23:30）

【会 場】オンライン（Zoom）

【テーマ】U-18フットサルリーグチャンピオンズカップの短編ドキュメンタリー映画をつくろう！

【演 者】土谷享（KOSUGE1-16/NPO法人サロン2002理事）

ガスパール・クエンツ（長野県在住の映画監督）

【参加者（計13名）】◎はNPO会員、○は会員外のファミリー、無印はファミリー外

注）（ ）内は個人の属性（所属等）とNPOサロン2002における役職

○磯和明（会社員）、○宇留間範昭（東急株）、ガスパール・クエンツ（映画監督）、◎小池靖（会社員／監事）、○小針昇平（筑波大学附属中学校）、近藤弘之（信州千曲観光局）、◎関秀忠（弁護士）

／理事)、◎橘和徳(富山県立富山中部高校／理事)、◎茅野栄一(元帝京大学)、◎土谷享(KOSUGE1-16／理事)、◎中塚義実(筑波大学附属高校／理事長)、◎本郷由希(会社員／理事)、◎本多克己(株シックス／副理事長)  
【報告書作成】土谷享ほか

#### 【キーワード】

ドキュメンタリー映画、UZU『渦』、ガスパール、  
フットサル、U-18 フットサル、U-18 フットサルリーグチャ  
ンピオンズカップ、U-18FLCC、高校生、ユースリーグ、千曲  
市、戸倉上山田温泉、

#### 【報告書目次】

はじめに

I. ガスパール作品『渦』について(※画像はいずれも映画『渦』より引用)

撮影の経緯／作品にするための構造を探す／説明ではなく体験としての映像／モチーフを見出す／

II. U-18FLCC のドキュメンタリー映像について

映画を作ろうと提案した経緯／プレスト前前提に／参加者とのプレスト／

普通は見えない・見ないところ／AIで要約

## 《2024年10月 公開サロン(通算336回) 報告》

【日 時】2024年10月4日(金) 19:00~21:00 ※終了後はオンライン懇親会(～22:30すぎ)

【会 場】オンライン(Zoom)

【テーマ】ソーシャルフットボールについて

－精神科デイケアでのリハビリテーションとソーシャルフットボール

【演 者】野村忠明(埼玉ソーシャルフットボール協会)

【参加者(計9名)】◎はNPO会員、○は会員外のファミリー、無印はファミリー外

注) ( ) 内は個人の属性(所属等)とNPOサロン2002における役職

泉達也(FREM.FC)、○磯和明(会社員／国立市総合型地域スポーツクラブ理事)、◎小池靖(長野県佐久市在住の会社員／監事)、佐藤京子(埼玉ソーシャルフットボール協会)、◎嶋崎雅規(国際武道大学)、◎中塚義実(筑波大学附属高校／理事長)、○野村忠明(埼玉ソーシャルフットボール協会)、野村昌明(介護職員・特別養護老人ホーム勤務)、○守屋さえ(スフィーダ世田谷となでしこジャパンのサポートー)

【報告書作成】野村忠明ほか

【概要(演者より)】

近年、精神障がいを抱えている人たちの数は増加傾向で、コロナ禍の影響もあって増えたのではと思います。世の中に精神障がいについての理解がまだまだな状況にあり、僕も選手として参加している「ソーシャルフットボールについて」や「精神病とは?」「精神科デイケアという施設で何をリハビリしているのか?」「精神科デイケアでのリハビリプログラムとしてのソーシャルフットボールはどのようなものなのか?」など、精神科デイケアでのリハビリの必要性と、その中でソーシャルフットボールがどのような役割を担っているのかお話しします。精神障がいについての理解と、ソーシャルフットボールの普及が願いです。

みなさん、よろしくお願いします。

#### 【キーワード】

ソーシャルフットボール、埼玉ソーシャルフットボール協会、フットサル、FREM.FC、精神疾患、精神障がい、精神科デイケア、障がい者スポーツ、アダプティッド、インクルージョン、スポーツ組織、野村忠明

## 【目 次】

- I. はじめに
- II. ソーシャルフットボールの動画鑑賞
- III. ソーシャルフットボールについて(演者より)
  - 1) ソーシャルフットボールとは?
  - 2) ソーシャルフットボールの歴史
  - 3) 精神障がいについて
  - 4) 精神科デイケアでのリハビリとは?
  - 5) リハビリとしてのソーシャルフットボール
  - 6) ソーシャルフットボールの選手にインスピュー
  - 7) 総括・ソーシャルフットボールの課題
- IV. 質疑応答

## 《2024年11月（通算337回） 公開シンポジウム》

11月23日（土祝）に、筑波大学附属高校敷地内の桐陰会館とオンライン（Zoom）で公開シンポジウム2024-②を実施。

テーマは「部活動で学んだことを語ろう！－筑波大学附属高校蹴球部の近現代を中心に」

## 《2024年12月（通算338回） 限定サロン報告》

【日 時】2024年12月21日（土）18：30～21：30ごろ中締め（その場で2次会。～22：15ごろ）

【会 場】フットボール × ザンギ・バル「ブラ セリエ BRAS SERIE」

【テーマ】2024忘年会兼お宝映像上映会：1974年のオランダ

－1974FIFAワールドカップ1次リーグ オランダ vs ウルグアイ

【参加者9名】◎はNPO会員、○は会員外のファミリー、無印はファミリー外

○奥山純一、○小松章一、○鈴木崇正、◎茅野栄一、◎中塚義実、○守屋佐栄、◎守屋俊秀、

○吉原尊男、森田真陽

【遅れて参加】◎小池靖、◎関秀忠

【お宝映像】1974FIFAワールドカップ・西ドイツ大会 1次リーグ オランダ vs ウルグアイ

### <目 次>

- I. 「お宝映像」選定の経緯
- II. 当日の様子
  - 1. 大まかな流れ
  - 2. 「お宝映像」について
- III. 参加者からのコメント（投稿順）

### 【キーワード】

1974FIFAワールドカップ、西ドイツ大会、オランダ、トータルフットボール、オフサイドトラップ、プレッシング、ローテーション、ヨーロッパ対南米、クライフ、ミケルス、ワールドカップ初戦、

## 《2025年1月 限定サロン（通算339回）》

【日 時】2025年1月30日（木）19：00～21：00 ⇒ 終了後はオンライン懇親会22：40ごろまで

【会 場】オンライン（Zoom）

【テーマ】第9回U-18フットサルリーグチャンピオンズカップの総括と今後

## 【参加者（仮）】

＜出場（希望）チーム、リーグ（19名）＞

荒川浩幸 ((一社)北海道フットサル連盟専務理事)、菊池宏志 (宮城県フットサル連盟)、小倉勇 (フウガドールすみだアルコンズ/監督)、原陽司 (東京都ユースフットサルリーグ)、茨木司朗 (バルドラー浦安テルセーロ監督)、刈込真人 (湘南ベルマーレフットサルクラブ U-18)、荻窪孝 (東急S レイエス FC フットサル U-18／神奈川県フットサル連盟)、大多和幸 (PROVA FUTSAL CLUB U-18 事務局・コーチ)、久保田勇輝 (東海大学付属静岡翔洋高校教諭・フットサル部監督)、小板博章 (愛知県フットサル連盟委員長)、佐々木大佑 (アンビシオーネ松本 U-18 代表・監督)、伊藤剛 (アンビシオーネ松本)、和田高汰 (不二越工コーチ)、塙田直文 (兵庫県フットサル連盟理事)、伊藤政人 (シュライカーダ阪 U-18 マネージャー)、難波和樹 (神戸ハーバーフットボールクラブ代表／兵庫県フットサル連盟副理事長)、安川知宏 (gatt2008)、錦戸蓮 (熊本国府高校フットサル同好会監督)、野村大輔 (AZVERT 薩摩川内)、

＜開催地関係（2名）＞

菅原基信 (長野県フットサル連盟会長)、近藤弘之 (信州千曲観光局)

＜サロン 2002 関係（含配信スタッフ 10 名）＞◎は NPO 会員、○は会員外のアシスタント、無印はアシスタント  
池田駿介 (配信スタッフ)、○井上俊彦 (サロン 2002)、◎河合拓 (合同会社日本蹴球侍)、  
◎小池靖 (NPO サロン 2002 監事)、◎橘和徳 (NPO サロン 2002 理事／富山県フットサル連盟理事)、◎茅野栄一 (NPO サロン 2002 元監事)、◎中塚義実 (NPO サロン 2002 理事長／筑波大附属高)、◎本郷由希 (NPO サロン 2002 理事／会社員)、◎本多克己 (NPO サロン 2002)、八巻貴哉 (配信スタッフ)、

【報告書作成】河合拓

## 【概要（理事長より）】

NPOサロン2002がtoto助成を受けて主催する「U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ」が、1月11日（土）～13日（月祝）の3日間、長野県千曲市の「ことぶきアリーナ千曲」で開かれました。長野県フットサル連盟が主管し、全国から16チームと審判が集い、熱戦が繰り広げられました。決勝戦はフウガドールすみだとペスカドーラ町田の東京対決となり、フウガドールすみだが4連覇を成し遂げます。フットサル日本代表の高橋健介監督も視察に来られ、「2036年にフットサル世界一になる」という目標の担い手世代である選手たちに熱い視線を向けていました。文字通り、国内におけるU-18年代の最高峰の大会に育ったと思います。

大会の模様は、以下よりご確認ください。

全試合ライブ配信 <https://youtube.com/@salon2002>

公式記録 [http://naganoff.jp/league/2024/tid\\_4645/](http://naganoff.jp/league/2024/tid_4645/)

Facebook <https://www.facebook.com/u18futsal>

公式サイト <https://www.u18futsalleague.jp/>

北海道から熊本まで、全国各地から集まった16チームが千曲市で3日間を気持ちよく過ごすことができました。信州千曲観光局や戸倉上山田温泉旅館組合など、地元の方々のあたたかいおもてなしのおかげです。初日の開会セレモニーでは小川修一市長にご挨拶をいただき、2日目のイベントでは、千曲市のチアリーディングチーム「キューティアンズ」が会場全体を盛り上げてくれました。

記憶が鮮明なうちに第9回大会を振り返るとともに、次のことについて意見交換する場を設けます。

1. 第9回大会を振り返って
    - 1) 競技レベルと大会運営 … 帯同審判の成果と課題など
    - 2) 千曲市との連携 … 宿泊・移動など
    - 3) 動画配信とプロモーション映像撮影
    - 4) 出場チームより
  2. 第10回大会へ向けて
    - 1) よりよい大会のために
    - 2) 第10回記念事業 - ドキュメンタリー映像の作成について
  3. 日常的なリーグ環境の整備に向けて
    - 1) 各地域リーグの現状と今後
    - 2) 情報交換
- 奮ってご参加ください！

## 《2025年2月（通算340回）公開サロン報告》

【日 時】2025年2月25日（火）19:30～21:30 ⇒ 終了後はオンライン懇親会（～23:00ごろまで）

【会 場】オンライン（Zoom）

【テーマ】台湾駐在の楽しみースポーツ、食べ物、文化

【演 者】笹原 勉（日揮台灣支店長）

【参加者（9名）】 ◎はNPO会員、○は会員外のサロンファミリー、無印はファミリー外

◎笹原 勉（日揮）、◎嶋崎 雅規（国際武道大学）、菅原 恭一（神奈川県立秦野総合高等学校）、○田中 俊也（三日市整形外科）、○張 寿山（明治大学）、◎中塚 義実（NPOサロン2002理事長／筑波大学附属高校）、○守屋 佐栄、◎守屋 俊秀、○吉原 尊男

【報告書】笹原 勉ほか

【キーワード】

台湾、スポーツ、食べ物、文化、笹原勉

【報告書目次】

1. 台湾の概要

2. スポーツ

    2.1野球

    2.2サッカープレミアリーグ

    2.3私のサッカー

    <ディスカッション①スポーツ編>

3. 食べ物・飲み物

    3.1お薦め料理

    3.2酔いどれライフ

4. 文化

    4.1日式建築

    4.2お寺がいっぱい

    <ディスカッション②食べ物、飲み物、文化>

## 《2025年3月（通算341回） 限定サロン報告》

【日 時】2025年3月28日（金）19～21時⇒ 終了後は「はなの舞」茗荷谷店（12名）～23時ごろ  
【会 場】筑波大学附属高高校会議室&オンライン（Zoom）

【テーマ】U-18FLCCの10周年に向けて一何ができるか

【話題提供】中塚義実、土谷享、本多克己 ほか参加者による意見交換

【参加者（13名）】◎はNPO会員、○は会員外のファミリー、無印はファミリー外

### ◆筑波大学附属高校での対面（9名）

◎石原俊秀（パルカ）、○岸卓臣（A-Goal）、○小池正通（Esperanca）、○小針昇平（筑波大学附属中保学科→3/31まで）、○小松俊介（筑波大学附属高校美術科）、○鈴木崇正（NECビジネスインテリジェンス）、○徳田仁（セリエ）、◎中塚義実（筑波大学附属高校保学科←3/31まで／理事長）、◎本郷由希（理事）

### ◆オンライン（Zoom）（4名）

◎嶋崎雅規（国際武道大学：千葉・勝浦から）、◎土谷享（KOSUGE1-16：高知から／理事）、  
◎本多克己（シックス：神戸から／副理事長）、ガスパール・クエンツ（映画監督：フランスから）

【懇親会からの参加者（4名）】宇都宮徹壱、田島璃子、◎関秀忠（理事）、○福島成人

【報告書作成】中塚義実

【キーワード】U-18フットサル、U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ、U-18FLCC、10周年、  
記録、映像、書籍、ドキュメンタリー、プロモーション、中塚義実、本多克己、土谷享  
＜目 次＞

### I. U-18フットサルからみえるユース年代のスポーツ環境

1. U-18フットサルのあゆみとサロン2002の関わり（中塚）
2. 第9回U-18フットサルリーグチャンピオンズカップのようす（中塚）
3. 各地域リーグの現状（本多）

### II. 10周年に向けて一何ができるか

1. 日本財団申請事業の概要一ダメにはなったが…（土谷）
2. ではどうするか…（全体での意見交換）

#### 2025.4.3.（中塚義実）※サロンファミリー配信メールより

年度末の3月28日（金）19時より、筑波大学附属高校会議室にて「限定サロン」が開かれました。片付け真っ只中の体育教官室を経由して校内に入り、3F会議室へ。このルートで月例サロンが開かれるのは今回がラストとなりそうだということで、多くの方が対面、オンラインで参加されました。

U-18フットサルリーグチャンピオンズカップの10周年を機に「何ができるか」についての議論でした。日本財団の助成金は得られませんでしたが、できることはあります。いろんな方が多様な視点で意見を出してくれて有意義な会でした。報告は中塚がまとめます。しばらくお待ちください。

終了後にサプライズがありました。月例サロンの運営と会場提供、38年間の高校教師生活を終えて「おめでとうございます」ということで、サロン2002有志から花束と素敵なお土産をいただきました。まったく予想していなかったのでとても驚き、とてもうれしく思いました。ありがとうございます。

懇親会は、茗荷谷の「はなの舞」での懇親会には懐かしい方々も参加され、ハイテンションで楽しい時間を過ごすことができ、次のパワーをいたいたいた気がしました。

これからはNPOサロン2002の活動がメインになります。通算341回となった月例サロンはまだまだ続きます。“志”の実現に向けて邁進してまいりますので、これからもよろしくお願いします！

## 2. 公開シンポジウム

公開サロンの拡大版として、公開シンポジウムを神戸（フットサル大会会場）と東京（筑波大学附属高校・桐陰会館）の年2回開催した。いずれについても、公開シンポジウム報告書『游 ASOBI』に詳細な報告が掲載されている。NPO サロン 2002 のホームページからも閲覧することができる。

報告書作成・送付も含め、toto の助成を受けた。会場での対面参加と、オンラインでの参加のハイブリッド方式を採用した。

《公開シンポジウム 2024-1 報告案（月例サロン通算 334 回）》

### U-18 女子フットサルを語ろう！

名 称 : サロン 2002 公開シンポジウム 2024 「U-18 女子フットサルを語ろう！」  
主 催 : 特定非営利活動法人サロン 2002、特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブ  
後 援 : 特定非営利活動法人兵庫県フットサル連盟  
日 時 : 2024（令和 6）年 8 月 1 日（木） 18:00～20:00 （17:30 受付開始）  
会 場 : グリーンアリーナ神戸多目的ホール（兵庫県神戸市須磨区緑台）&オンライン（Zoom）  
登壇者 : 田中 悅博（福井丸岡 RUCK）  
中村 柚斗（武南高校女子フットサル部）  
小林美由紀（WE リーグ理事）  
※中塚 義実（NPO サロン 2002 理事長／筑波大学附属高校教諭）※コーディネーター兼  
※本多 克己（NPO サロン 2002 副理事長／NPO 神戸アスリートタウンクラブ理事長）  
参 加 費 : 無料  
参考資料 : スポーツ文化研究会サロン 2002 公開シンポジウム 2012（2013 年 3 月 30 日開催）  
「U-18 フットサルを語ろう！」  
[https://www.salon2002.net/src/pdf/symposium/2012\\_sympo.pdf](https://www.salon2002.net/src/pdf/symposium/2012_sympo.pdf)

#### ＜開催趣旨＞

U-18 女子フットサルが少しずつ盛り上がりを見せています。いくつかの都道府県では協会や連盟主催の U-18 女子大会が行われ、「グリーンアリーナ神戸カップ」のように NPO が主催する全国規模の大会もあります。学校やクラブの交流試合や招待大会も増えてきました。

このような機運を背景として、本シンポジウムが企画されました。

12 年前の男子も似たような状況でした。都道府県レベルでの盛り上がりはあったものの、全国規模の公式戦はありません。そこで法人化前のサロン 2002 は 2013 年 3 月に「U-18 フットサルを語ろう！」というシンポジウムを開催し、U-18 フットサルの位置づけと各地の現状を把握し、課題と可能性を共有しました。これが一つのきっかけとなって、JFA 主催大会や連盟主催の選抜大会の開催につながりました。NPO 法人サロン 2002 でも毎年、「U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ」を主催しています。大きな飛躍には何かのきっかけが必要です。

盛り上がりを見せはじめているとはいえ、乗り越えなくてはならない障壁は多々あります。地域ごとの温度差もあります。まずは各地の U-18 女子フットサルの現状と課題を共有し、今後の方向性をさぐっていきたい。それがこのシンポジウムのねらいです。U-18 女子フットサルには大きな可能性があります。次につながるシンポジウムにしていきたいと思います。

（中塚義実）

## 公開シンポジウム 2024-1 参加者 計 47 名(敬称略)

### ■対面参加（計 34 名） ※懇親会参加は 8 名

※サロン 2002 ファミリー（2 名） … 中塚義実（NPO サロン 2002 理事長／筑波大学附属高校／TFA フットサル委員会ユース部会長）、本多克己（NPO サロン 2002 副理事長／NPO 神戸アスリートタウンクラブ理事長／HFF 理事）

※サロン 2002 ファミリー外（32 名）

- ・登壇者（3 名） … 小林美由紀（WE リーグ理事）、田中悦博（福井丸岡 RUCK）、中村征斗（武南高校女子フットサル部）
- ・運営スタッフ（3 名） … 堀川真那（㈱シックス）、日置捻夫・惣八典彦（デウソン神戸）
- ・後援団体（1 名） … 西田俊一（NPO 兵庫県フットサル連盟会長）
- ・一般参加（14 名） … 石原竜太、上門大介（鹿児島実業高校フットサル部）、岡崎空日南太（日刊スポーツ新聞西日本）ほか 2 名、小野英晃（神戸常盤女子高校フットサル部）、霧嶋兼三、久米智弘（福井丸岡 RUCK 広報）、裕田直文（神戸国際大学附属高校フットサル部）、鈴木義章（兵庫県サッカー協会技術委員会）、羽生田真一（日本女子体育大学附属二階堂高等学校フットサル部）、宮田亜里紗（阪神ユナイテッド）、森本朋高（明石サッカー協会／あかしユニバーサルフットボール連盟）、山田量、
- ・小林愛心ほか福井丸岡 RUCK サテライト 11 名

### ■オンライン参加（13 名）

※サロン 2002 ファミリー（4 名） … 小池靖（在さいたま市サッカースポーツ少年団指導者／NPO サロン 2002 監事）、茅野英一（かながわクラブ）、本郷由希（NPO サロン 2002 理事）、野村忠明（埼玉ソーシャルフットボール協会運営委員／会社員）

※サロン 2002 ファミリー外（9 名） … 海野伸明、木下瑛博（株式会社ヴォルフェ）、小林茜、柴山宣喜、末永剛（Fuerza 宗像）、寺中健造、土居陽治郎（国際武道大学・水泳部部長）、豊川季絵（一般社団法人日本トップリーグ連携機構／フウガドールすみだレディース）、門田健次（FC 町田ボニータ代表・監督）

## 《公開シンポジウム 2024-2 報告（月例サロン通算 337 回）》

# 部活動で学んだことを語ろう！

—筑波大学附属高校蹴球部の近現代を中心に—

名 称 : サロン 2002 公開シンポジウム 2024-2  
「部活動で学んだことを語ろう！—筑波大学附属高校蹴球部の近現代を中心に」

主 催 : 特定非営利活動法人サロン 2002

後 援 : 日本部活動学会、桐窓サッカー倶楽部

協 力 : 日本サッカー史研究会

日 時 : 2024（令和 6）年 11 月 23 日（土祝） 14：30～17：00（14：00 受付開始）  
注) 17：00～19：00 同会場で懇親会 ※会費 2,000 円は当日徴収します

会 場 : 筑波大学附属高等学校「桐陰会館」 ※オンラインでも参加できます

登壇者 : 高橋 正紀 岐阜協立大学経営学部（スポーツ哲学）  
朝倉 雅史 筑波大学人間系（スポーツ経営学）  
※中塚 義実 筑波大学附属高校／NPO サロン 2002 理事長（スポーツ社会学・教育学）  
※コーディネーター兼

参 加 費 : 1,000 円（サロン 2002 ファミリーと学生は無料です）

参考資料 : NPO 法人サロン 2002 2024 年 5 月公開サロン報告書  
大戦前の日本サッカーと二つのルーツ校－東京高師と東京高師附属中  
[https://www.salon2002.net/src/pdf/monthly\\_report/2024/2024-5.pdf](https://www.salon2002.net/src/pdf/monthly_report/2024/2024-5.pdf)

### <開催趣旨>

待ったなしの部活動改革が進んでいます。教育課程外であるにもかかわらず、日本の学校教育の中で大きな位置を占めてきた部活動は、以前のままでは存在し得なくなっています。

2017 年 12 月に発足した日本部活動学会の設立趣意書には、部活動をめぐる諸課題として「児童生徒の負担の問題（家庭での時間や自由時間が少ない等）、顧問教員の過重負担、教員の全員顧問制と児童生徒の強制加入、過酷な練習や体罰、外部指導員との連携や質的向上、部活動指導員（職員）の確保、保護者の理解と協力、大会や練習時の送迎の問題、選手育成か教育かという目的に関わる問題など、多様な問題や課題」が指摘されています。まずは中学校から部活動の地域展開が進行していますが、高校や大学にも影響は及んでいます。

扱い手が地域であろうと学校であろうと、青少年が好きなことに取り組み、仲間とともに過ごす場は必要です。部活動には「居場所としての意義」があり、試合の勝敗とは別の「何かが育まれてきた」ものと考えます。

本シンポジウムでは、卒業生が語る「部活動で学んだこと」を通して、長い目で見た部活動の意義や改善点を明らかにすることを試みます。主な舞台は筑波大学附属高等学校蹴球部（旧東京高等師範学校附属中学蹴球部）で、今年 2 月に創部 100 年を迎えた歴史と伝統を持つクラブです。J リーグ発足前後から日本サッカーのメジャー化が進む中、同部は、サッカーとフットサル、男子と女子、現役と卒業生が連携するクラブとなり、多様な活動を展開しながらさまざまな分野に人材を輩出していました。卒業生のコメントと学術的な考察を交えながら、部活動の可能性と課題を明らかにしていきたいと考えます。

シンポジウム終了後は、同会場にて懇親会を企画しています。部活動のいまとこれからを、多くの方々とざっくばらんに語り合えることを願います。（中塚義実）

## 公開シンポジウム 2024-2 参加者 計 28 名(敬称略)

◎はNPOサロン2002会員、○は会員外のサロンファミリー、無印はファミリー外（11/23時点）

### ■対面参加（計 25 名） ※うち懇親会参加は 22 名

- ・登壇者 3 名... ○朝倉雅史、高橋正紀、◎中塚義実
- ・筑波大学附属高校蹴球部卒業生 14 名（氏名の前の数字は卒業回） ... 78 菅原博、80 留岡伸一、103 池田知之、103 嶋田淳、103 木田圭亮、103 横山浩太郎、103 寄田浩平、◎104 関秀忠、○106 大河原誠二、106 西片淳、111 大澤潤一郎、○111 小野塚隼平、◎116 柳井隆志、○121 遠山諒
- ・同 在校生 2 名（いずれもフットサル部） ... 中川結理（高1）、志村大輔（高2）
- ・上記以外 6 名... ○安藤 裕一、小池正通、◎小池靖、◎嶋崎雅規、○丸山実花、○皆川宥子

### ■オンライン参加（3 名）

◎高原涉（宝塚F.C.）、浦井智治（NPO法人吉川みらいのブカツ）、神谷拓（関西大学／日本部活動学会会長）

参考1) Peatixの事前申込は28名。うち欠席が、対面3名、オンライン1名の計4名。

登壇者2名と高校生2名を加えた参加者は上記のとおり。

参考2) 事前申込28名のうち、サロン2002ファミリーは14名、ファミリー外は14名。

参加費収入は1,000円×14名=14,000円

### 3. 第9回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ

「U-18年代のレベルアップ」と「日常的なリーグ環境の整備」を目的として2016年度（2017年1月）に始まった標記大会は、2024年度で第9回となった。前回大会より、大会期間を3日間に延長し、全国から集まる16チームが、試合と交流をより楽しめるようにした。第3回大会より長野県千曲市で開催、地元との連携を密にとりながら大会が企画された。

代表者会議で配布された「ご挨拶」と報告書に掲載された「第9回大会を終えて」、および実施要項と大会結果を本報告書に転載する。

詳細はNPOサロン2002のホームページにあるのでご参照いただきたい。

#### ご挨拶

「U-18年代のレベルアップ」と「日常的なリーグ環境の整備」の二つのねらいで始まったこの大会も、今年で9回目となります。第3回大会からことぶきアリーナ千曲を会場とし、昨年度から3日間開催となりました。今回もtotoの助成と多摩大学からの協賛、地元自治体や協会、メディア各社の後援をいただき開催できることをうれしく思います。主管の長野県フットサル連盟はじめ、大会をささえてくださる地元の皆さんに心より感謝申し上げます。持続可能なあり方を求めた結果、審判員の帶同を各チーム、リーグにお願いしました。ご理解、ご協力に感謝いたします。

この大会を経験したプレーヤーが、大学やFリーグ、海外、あるいは日本代表として活躍する姿を目指します。大会の注目度は高く、フットサルのレベルアップに貢献できている実感があります。

しかし日本代表はFIFAフットサルワールドカップ・ウズベキスタン2024の出場権を逃しました。まだメジャーとは言えないスポーツにとっては大きな痛手です。「U-18年代のレベルアップ」のためにも、「誰が、いつ、フットサルに取り組むのか」を考慮したリーグ環境の整備が必要です。

「日常的なリーグ環境の整備」については、年度はじめの調査で「U-18リーグを実施している」との回答が、北海道、宮城又は東北、埼玉、千葉、東京、神奈川、富山、長野、静岡、愛知、京都、大阪、兵庫、福岡、熊本、鹿児島、関東の16地域からあり、この10年で大きく進みました。

しかしその実態はさまざまです。チーム数が増えない、リーグ日程が定まらない、施設や審判が不足している、お金がかかる、担い手がいない…。各地のU-18フットサルリーグが直面するこれらの課題は、ユース年代のスポーツ環境を持続可能なものとするために乗り越えねばならない課題であり、今後の可能性もあります。

来年度で10周年を迎えるタイミングで、この大会を、各地域リーグの現状も含めドキュメンタリー映像として記録に残すプロジェクトに取り組みます。アーカイブとして記録するだけでなく、メッセージを共有し理解者を増やすために用います。

ご理解とご協力ををお願いいたします。

大会に携わるすべての人が、U-18フットサルと思う存分楽しみ、千曲市を堪能していただくことを願います。そして大会後も、それぞれの地元で、健康・安全で“ゆたかなくらし”が展開されることを、心より願います。

令和6（2025）年12月27日  
特定非営利活動法人サロン2002  
理事長 中塚 義実

# ご挨拶

## レベルアップは地域の日常から－第9回大会を終えて

今年も成人式を最終日とする3日間、全国から千曲市に集まった16チームが熱い戦いを繰り広げました。大会を支えてくださったすべての方々に感謝申し上げます。

競技レベルは年々上がり、この大会が世界につながることを改めて感じました。とくに4連覇を果たしたフウガドールすみだファルコンズの強さは際立っていました。「打倒すみだ」「打倒東京」が、各地域の合言葉となったことでしょう。そのためにも「日常的なリーグ環境の整備」が急務です。

決勝戦が行われた1月13日、東京都内で第24回東京都ユースフットサルフェスティバルが始まりました。2001年度創設の、FA公認U-18フットサル大会です。東京都ではリーグ戦、カップ戦（JFA主催大会予選）とは別に、都内完結型のフェスティバルを夏と冬を行っています。出場チーム数が多いのでランニングタイムで試合をこなします。そのため番狂わせが起きやすい大会でもあります。

2月2日の最終日、準々決勝でフウガとペスカドーラ町田が対戦しました。千曲の大会に出なかったメンバーで構成されたフレッシュなフウガが、ベストメンバーの町田を退けます。続く準決勝のフウガの相手は町田JFC。U-15年代までのサッカークラブですが、高校時代を全国各地の高体連チームで過ごした仲間が町田JFCU-18として毎年再集合します。

試合は1-1からのPKでフウガが勝ちました。ベスト4には國學院久我山高校も残りました。高体連のサッカー部です。進路が決まった高校3年生がメモリアルマッチとして毎年参加します。決勝はフットサルクラブのFOOTBOZEがフウガに4-1で勝利し、8年ぶりの優勝を果たしました。常勝フウガも油断できない東京都の日常です。この大会の出場チームをみていると、U-18フットサルの奥深い可能性を感じます。

少子化、青少年のスポーツ離れは、全国共通の大きな課題としてあります。加えて、各地のU-18リーグの話を聞きすると、地域に固有の課題があることも理解できます。10周年に向けて各地の状況を取材してドキュメンタリー映像を作成します。U-18フットサルをもっと盛り上げ、千曲市の、そして全国各地の地域をつないでいきたいと考えます。

第9回大会を中心に、5分間のプロモーション映像を作成しました。改めてこの大会の意義をご理解いただき、各地域でリーグ仲間を増やしていく際にご活用ください。



PR動画

<https://youtu.be/JHDCw4GQ8pk>

2025年2月9日

特定非営利活動法人サロン2002 理事長 中塚 義実

# 大会要項（一部抜粋）

- 1. 名称** 第9回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ  
**2. 主催** 特定非営利活動法人サロン2002  
**3. 主管** 長野県フットサル連盟  
**4. 後援** 長野県、長野県教育委員会、千曲市、一般社団法人信州千曲観光局、一般社団法人長野県サッカー協会、千曲市サッカー協会、戸倉上山田温泉旅館組合連合会、信濃毎日新聞社、TSBテレビ信州、株式会社信州ケーブルテレビジョン、ちくま未来新聞  
**5. 協賛** 多摩大学  
**6. 会場** ことぶきアリーナ千曲（長野県）  
**7. 日程** 2025年1月11日（土）、12日（日）、13日（月祝）

## 8. 参加資格

- (1) 公益財団法人日本サッカー協会（以下、「日本サッカー協会」とする。）に加盟登録した単独のチームであること（準加盟チームを含む）。
- (2) 前項のチームに所属する2005年4月2日以降に生まれた選手で男女の性別は問わない。但し、高等学校在学中の選手にはこの年齢制限を適用しない。
- (3) 2024年度の選出元のU-18 フットサルリーグに登録・出場している選手であること。

## 9. 参加チーム

- 参加チームは、次の各号により選出された16チームとする。
- (1) 地域または都道府県のフットサル連盟が主催、主管または後援して開催される2024年度のU-18 フットサルリーグの優勝チーム。
- (2) 出場チームが16チームに満たない場合は、当該年度のリーグ参加チーム数の多いリーグから順にチームを選出し、16チームでの開催とする。

## 10. 大会形式

- (1) 一次ラウンド：16チームを4チームずつ4つのグループに分け、グループ内で一回戦総当たりのリーグ戦を行い、各グループ1位チームが二次ラウンドに進出する。
- リーグ戦での順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引き分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
- 1) 当該チーム内の対戦成績  
2) 当該チーム内の得失点差  
3) 当該チーム内の総得点数  
4) グループ内の総得失点差  
5) グループ内の総得点数  
6) 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム  
(ア) 警告1回 1ポイント  
(イ) 警告2回による退場1回 3ポイント  
(ウ) 退場1回 3ポイント  
(エ) 警告1回に続く退場1回 4ポイント
- 7) 抽選  
(2) 二次ラウンド：一次ラウンド各グループ1位が準決勝を行い、各準決勝勝者が決勝戦、準決勝敗者による3位決定戦は行わず両者を3位とする。
- (3) 交流戦：一次ラウンドの2位グループ、3位グループ、4位グループによる交流戦を行う。

## 11. 競技規則

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

## 12. 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

- (1) ピッチ 原則として、40m × 20mとする。  
(2) ボール 試合球：フットサル4号ボール  
(3) 競技者の数 競技者の数：5名 交代要員の数：9名以内  
(4) チーム役員の数 4名以内  
(5) 競技者の用具  
① ユニフォーム  
(ア) 日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。  
(イ) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ソックス）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。  
(ウ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。  
(エ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。  
(オ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならぬ。  
(カ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。  
(キ) ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。  
(ク) 正・副の2色については明確に異なる色とする。  
(ケ) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。  
(コ) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。  
(サ) その他のユニフォームに関する事項については、日本サッカー協会のユニフォーム規程に則る。  
② 靴：キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が鈍色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。  
③ ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。  
(6) 試合時間  
全試合30分間（15分からなる2つのビリオド）のプレーイン

グタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間（第1ビリオド終了から第2ビリオド開始まで）とする。

(7) 試合の勝者を決定する方法(試合時間内で勝敗が決しない場合)

① 一次ラウンド / 交流戦：引分け

② 二次ラウンド

準決勝：PK方式により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする

決勝：10分間（5分からなる2つのビリオド）の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

### 13. 懲罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (2) 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- (3) その他、本大会の懲罰に関する事項については、大会規律・フェアプレー委員会が決定する。

### 14. 参加申込

- (1) 1チームあたり26名（役員6名、選手20名）を上限とし、選手は選出元のリーグに登録していること。
- (2) 2024年12月20日までに申込フォームへの登録と宿泊手配を行うこと。12月23日の登録票提出以降の参加申込内容の変更は原則として認めない。

### 15. 選手証

各チームの登録選手は、原則として日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものと示す。

### 16. 納み合わせ

主催者において決定する。

### 17. 参加料

1チームあたり40,000円

### 18. 表彰

優勝、準優勝のチームを表彰する。

### 19. 経費

旅費交通費は各チーム負担とする。

### 20. 傷害補償

チームの責任において傷害保険（物損対応可能なもの）に必ず加入し、試合会場に保険証書またはそのコピー等を持参すること。会場の破損等については、チームの責任において保険で対応すること。

### 21. 負傷対応

競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。チームの責任において対応すること。

### 22. その他

- (1) 出場チームは資格を有する審判を帯同することとし、選出元のリーグが責任をもって対応すること。長野県フットサル連盟の規定により謝金を支払うが、旅費・交通費はチームまたは所属リーグ負担とする。各人の割り当ては3~4試合とし、決勝は長野県フットサル連盟にて担当する。
- (2) 代表者会議は12月27日19時より、オンラインにて実施する。
- (3) 飲水は、ベンチ内のシート上でペットボトルまたはスクイズボトルに充填された水のみを許可する。飲水後、ベンチ付近にこぼれた水は、チームが責任を持って拭くこと。
- (4) 試合開始の60分前にマッチコーディネーションミーティングを行い、ユニフォームを決定する。
- (5) 参加チームと選手は日本サッカー協会の基本規程および付属する諸規程を順守しなければならない。
- (6) 大会規定に違反し、その他不正行為等があった場合は、そのチームの出場を停止する。
- (7) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (8) 本実施要項に記載のない事項については、主催者にて決定する。
- (9) 全試合の映像をYouTubeで配信する。映像は公開し、継続的に閲覧可能とする。

# 大会結果

## 第8回U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ

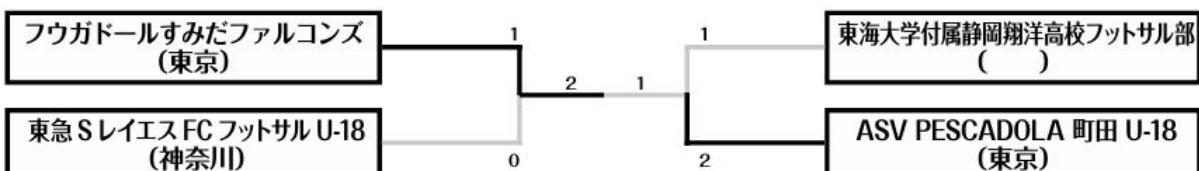
2024年1月6日(土)、7日(日)、8日(月祝) 長野/ことぶきアリーナ千曲

Aグループ		東急	名古	ga	富山	勝点	試合	勝	引	敗	総得点	総失点	得失点	順位
1 東急SレイエスFCフットサル			3○1	13○0	5○0	9	3	3	0	0	21	1	20	1
2 名古屋オーシャンズU-18		1●3		4○3	2○0	6	3	2	0	1	7	6	1	2
3 gatt2008 U-18		0●13	3●4		4○2	3	3	1	0	2	7	19	-12	3
4 富山県立伏木高等学校		0●5	0●2	2●4		0	3	0	0	3	2	11	-9	4

Bグループ		レイエス	シュライカ-	VALIENTE	83SPIRITS	勝点	試合	勝	引	敗	総得点	総失点	得失点	順位
1 フウガドールすみだファルコンズ			4○1	8○1	10○1	9	3	3	0	0	22	3	19	1
2 パルドラー浦安テルセーロ		1●4		11○3	5○0	6	3	2	0	1	17	7	10	2
3 VALIENTE		1●8	3●11		4○2	3	3	1	0	2	8	21	-13	3
4 アンビシオーネ松本 U-18		1●10	0●5	2●4		0	3	0	0	3	3	19	-16	4

Cグループ		東海	正智	湘南	熊本	勝点	試合	勝	引	敗	総得点	総失点	得失点	順位
1 東海大学付属静岡翔洋高校フットサル部			8○2	2△2	4○2	7	3	2	1	0	14	6	8	1
2 正智深谷高等学校		2●8		4○3	5○2	6	3	2	0	1	11	13	-2	2
3 湘南ベルマーレフットサルクラブ		2△2	3●4		3○1	4	3	1	1	1	8	7	1	3
4 熊本国府高校フットサル同好会		2●4	2●5	1●3		0	3	0	0	3	5	12	-7	4

Dグループ		AS	神戸	PR	不二	勝点	試合	勝	引	敗	総得点	総失点	得失点	順位
1 ASV PESCADOLA 町田 U-18			2○0	9○5	10○2	9	3	3	0	0	21	7	14	1
2 神戸ハーバーフットボールクラブ		0●2		5○2	7○4	6	3	2	0	1	12	8	4	2
3 PROVA FUTSAL CL		5●9	2●5		14○0	3	3	1	0	2	21	14	7	3
4 不二越工業高校		2●10	4●7	0●14		0	3	0	0	3	6	31	-25	4



フウガドールすみだファルコンズ（東京）

賀川浩賞（得点王）

賀川浩

1924年神戸出身 神戸一中などでプレーした後、サンケイスポーツ編集局長などを経て、現役最年長のスポーツライター。サロン2002正会員。2010年に日本サッカーベンチ入り、2015年にはFIFA会長賞を受賞した。

齋藤幸輝選手

パルドラー浦安テルセーロ

### 得点ランキング

順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点
1	齋藤 幸輝	パルドラー浦安テルセーロ	9	5	深澤 楓翔	PROVA FUTSAL CLUB U-18	5	7	長谷部 陽	ASV PESCADOLA 町田 U-18	4
2	岩井 琢真	フウガドールすみだファルコンズ	6	7	申橋 輝来	東急Sレイエス FC フットサル U-18	4	7	新 竜兵	フウガドールすみだファルコンズ	4
2	陰山 福紀	神戸ハーバーフットボールクラブU18	6	7	入野 凌哉	PROVA FUTSAL CLUB U-18	4	7	行木 詩心優	フウガドールすみだファルコンズ	4
2	大多和一虎	PROVA FUTSAL CLUB U-18	6	7	飯田 大雅	PROVA FUTSAL CLUB U-18	4	7	小泉 菲弥	東急Sレイエス FC フットサル U-18	4
5	青砥 圭汰	ASV PESCADOLA 町田 U-18	5	7	小野 晃平	ASV PESCADOLA 町田 U-18	4	7	大西 堺	東急Sレイエス FC フットサル U-18	4

## 4. 高校生対象のオリンピック教育プログラム

### 日本ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム（国内 YF）

世界中の高校生が2年に一度集まり、オリンピズムを学び、互いの交流を深め合う「国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム（国際YF）」が最後に開かれたのは2022年11月であった。コロナ禍での延期や開催地の変更があり、規模を縮小し、ミュンヘンで開催されたのが第13回大会である。今後の開催については未定だが、新たなかたちで再スタートすることが期待されている。

その国内版と言えるのが「日本ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム（国内YF）」である。日本ピエール・ド・クーベルタン委員会（CJPC）が主催し、NPO法人サロン2002は毎回、共催、後援、協力、主管など、さまざまなかたちで携わっている。

コロナ禍で実施したオンラインのスタイルと会場でのリアル開催を組み合わせた2日間のプログラムは、すっかり定着してきた感がある。年末開催には諸問題があるが、昨年度からは大学生の参加も受け入れ、2021年の東京オリンピック・パラリンピックのレガシーの一つとして育てていきたい事業である。

参加校	
<b>■高校生</b>	
中京大学附属中京高校	1名(女1)
堀山女学園高校	4名(女4)
筑波大学附属高等学校	2名(女2)
自由学園高等部	5名(男3女2)
国士館高等学校	2名(男1女1)
<b>■大学生</b>	
自由学園最高学部	1名(女1)
国際武道大学	1名(男1)
中京大学・大学院	3名(男1女1)
高校生14名+大学生5名=計19名	



**別紙1****日本ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム2024 実施要項****【目的】**

日本の高校生がオリンピック・パラリンピックについての基本的な知識を習得し、多彩な活動を通してオリンピズムやオリンピックムーブメントについての理解を深め、様々な学校の参加者と交流する。本フォーラムの活動を通して、次世代のスポーツ文化の担い手となる人材の育成に寄与する。

- 【主催】 日本ピエール・ド・クーベルタン委員会 (CJPC)  
【共催】 特定非営利活動法人日本オリンピック・アカデミー (JOA)  
【主管】 筑波大学オリンピック研究教育センター (CORE)  
中京大学  
特定非営利活動法人サロン2002 (NPOサロン2002)  
【協力】 東海学園大学スポーツ健康科学部  
【開催日】 2024年12月25日（水）、26日（木）宿泊なし  
【開催形式】 対面およびオンライン  
初日：オンライン、二日目：ハイブリッド（遠方の場合はオンラインも可）  
【開催場所】 関東地区；筑波大学附属高等学校  
中部地区；中京大学  
【参加費】 無料  
【申込期間】 2024年10月21日（月）～11月22日（金）  
【参加者】 高校生および大学生（各地区30名程度）  
【全体テーマ】 スポーツとジェンダー

**【プログラムとスケジュール】****◆12月25日（水）オンライン**

- 9:00～10:15 オープニング／オリエンテーション  
10:30～11:20 講義① クーベルタンのオリンピズム  
11:30～12:20 講義② 嘉納治五郎とオリンピックムーブメント  
13:20～14:45 講義③ オリンピックとジェンダー  
15:00～17:00 演習① 中京大学スポーツミュージアム活動  
17:00 諸連絡後解散

**◆12月26日（木）対面**

- 9:00～9:15 諸連絡等  
9:15～10:05 講義④ スポーツにおけるジェンダー問題の実際  
10:20～12:20 運動プログラム：ボッチャ対抗戦  
13:30～15:30 演習② Olympic Values Education Programme で「ジェンダー」を学ぶ  
講義とグループディスカッション  
15:45～16:15 グループディスカッション発表  
16:25～17:00 クロージング  
17:10 解散

※課題レポートを12月27日（金）中に提出する

**【申し込み・問い合わせ窓口】**

参加をご希望の方は、上記締め切り日までに、別紙2学校長承諾書・参加者名簿を以下の事務局まで提出してください。なお、会場等の都合上、同一学校で10名を超過する場合はご相談ください。

事務局：日本ピエール・ド・クーベルタン委員会

[coubertin\\_commission@olympic-academy.jp](mailto:coubertin_commission@olympic-academy.jp)

QRコードからアドレスを読み込むことができます→

**【各学校・参加者へのお願い】**

両日とも様々なオンライン機能を活用予定です。スマートフォンではなく、PCからの参加をお願いします。

## 5. 事務局報告

1) 2024 年度 NPO 法人サロン 2002 会員・ファミリーの人数

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| ① NPO 法人サロン 2002 会員数 | 23 名            |
| ② サロン 2002 ファミリー数    | 78 名 (NPO 会員含む) |

2) 2023 年度役員・事務局

理事長 中塚義実  
副理事長 本多克己  
理 事 熊谷建志、齋藤宣彰、関秀忠、橘和徳、土谷享、本郷由希  
監 事 小池靖  
顧問税理士 松下徹

3) 事業内容

	事業内容
通年	サロン 2002 ファミリーの募集、ホームページ・メーリングリストの運営、会員名簿の管理
4月	4/18 限定サロン「サロン 2002 を語ろう！－2024 年度のスタートにあたって」
5月	5/9 公開サロン「大戦前の日本サッカーと二つのルーツ校－東京高師と東京高師附属中」
6月	6/15 2024 年度サロン 2002 総会 6/15 限定サロン「2024 総会後の意見交換会－サロン 2002 の事業と組織を考える」
7月	7/17 公開サロン「次世代支援について語ろう －未来を創る 25 歳の若者たちに必要な成長支援は？」
8月	8/1 公開シンポジウム 2024-1 「U-18 女子フットサルを語ろう！」
9月	9/3 公開サロン「U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップの 短編ドキュメンタリー映画をつくろう！」
10月	10/4 公開サロン「ソーシャルフットボールについて －精神科デイケアでのリハビリとソーシャルフットボール」
11月	11/23 公開シンポジウム 2024-2 「部活動で学んだことを語ろう！ －筑波大学附属高校蹴球部の近現代を中心に」
12月	12/21 限定サロン「2024 忘年会兼お宝映像上映会：1974 年のオランダ －1974 FIFA ワールドカップ 1 次リーグ オランダ vs ウルグアイ」 12/25～26 日本ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム 2024 を主管
1月	1/11～13 第 9 回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ主催（於長野県千曲市） 1/30 限定サロン「第 9 回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップの総括と今後」
2月	2/25 公開サロン「台湾駐在の楽しみースポーツ、食べ物、文化」
3月	3/28 公開サロン「U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップの 10 周年に向けて －何ができるか」 公開シンポジウム 2024 報告書『游 ASOBI』の発行

注) 公開サロン：参加対象を広く一般に公開

限定サロン：参加対象をサロン 2002 ファミリーに限定

以上